



予算の執行状況



福祉や教育など、市政運営の基本となる一般会計予算の平成17年度執行見込みをお知らせします。最終的な決算の内容は、本誌12月号に掲載する予定です。

詳細 財政部 ☎211-2216

予算の状況

当初予算

平成7年度並みの低い予算規模

地方交付税などの削減や、生活保護費の増加など厳しい財政状況のため、歳入・歳出の大幅な見直しを行い、前年比2.4%の減となりました。

補正予算

除雪、アスベスト関連に予算を追加

例年より気温が低く、雪解けが進まなかったために堆積した雪の排雪作業や、アスベスト除去作業などに、115億円の予算を追加しました。

主な補正予算

- 除雪費……………25億円
- 障害者自立支援法施行準備経費……………4億円
- 私立保育所新・改築費補助金……………6億円
- 職員給与条例の改定に伴う職員給与などの減額……………11億円
- アスベスト除去関連……………5億円

最終予算

前年比2.2%減の最終予算額

当初予算額	7,935億円
補正予算額	115億円
前年度からの繰越額	109億円
合計(最終予算額)	8,159億円

執行状況

一般会計の主な歳入・歳出の決算見込み

区分	最終予算額	決算見込み額
主な歳入	市税	2,597億円 (138,692円)
	国庫支出金	1,312億円
	諸収入	1,291億円
	地方交付税	1,123億円
	市債	704億円 623億円 (33,093円)
主な歳出	保健福祉費	2,059億円
	諸支出金	1,293億円
	職員費	1,043億円
	土木費	1,008億円
	公債費	960億円
		959億円

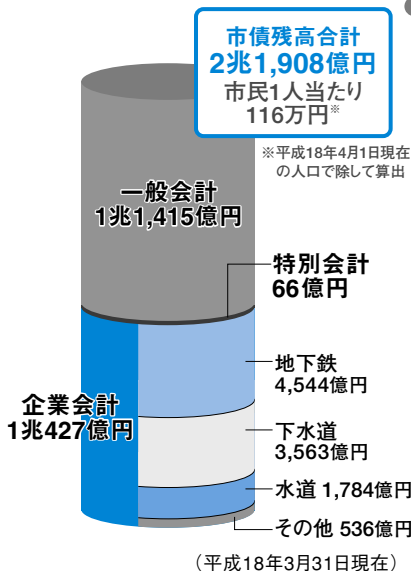
※()は市民1人当たりの金額。決算見込み額を平成18年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)1,882,589人で除して算出

市債残高の状況

市債は、公共施設などを造るために市が借り入れる長期の借入金。将来、その施設を利用する市民にも、費用を公平に分担してもらうためのものです。

今後の返済に備え、資金の積み立て(減債基金)をするなど、計画的な返済に努めているほか、新たな借金をできる限り抑制しており、市債の残高は減少していく見込みです。

なお、一時借入金(年度途中の一時的な資金不足を補うための借り入れ)については、一般会計のほか、企業・特別会計ともに残高はありません。



基金残高の状況

※基金とは、特定の目的のために積み立てた資金や不動産などの財産のこと。

区分	現在高
減債基金	1,222億円
土地開発基金	711億円
まちづくり推進基金	189億円
財政調整基金	142億円
その他	138億円
合計	2,402億円

(平成18年3月31日現在)